

2015.10.10(土)

「浮世絵 摺りの実演とワークショップ」を開催しました。

呉市立美術館

URL <http://www.kure-bi.jp/>
e-mail kure-bi@abeam.ocn.ne.jp

実演

講師に京都・市村一房堂の古川元偉氏をお迎えして、『富嶽三十六景』の中の一枚、《神奈川冲浪裏》を実際に摺って頂きました。

版木には主に桜の木が使われており、古いものだと江戸時代から現代まで使われているものもあるそうです。多色刷りの場合は色ごとに何度も重ねて摺っていきます。その時には場所がずれないように版木にある「見当」という印に紙を合わせて摺ります。また、水の量を調節して境界線をぼかす「ぼかし」など様々な技があります。



この姿勢で何枚も摺り続けるのはなかなか大変だそうです…。

完成した《神奈川冲浪裏》は本当に細かく、版木を彫る彫師や、色をつける摺師の技術の高さを感じました。参加者の方も真剣に見学され、実演終了後には講師の方にたくさんの質問が寄せられました。



当日、実際に摺っていた作品です。 ⇒



ワークショップ

見学した後に、参加者の方にも実際に摺りを体験して頂きました。今回は『北斎漫画』に描かれているうさぎに挑戦します。



①まずは縁の黒い線を摺ります。

②と③の作業をする時は、ずれないように置かなければならないのでドキドキです…！！



③最後に朱印を入れたら完成です！！

②うさぎの体部分に色を付けます。



かわいい絵葉書が
できました！！



講師の古川さん、参加者の皆様、ありがとうございました！